

2026年3月22日 四旬節第五主日礼拝説教

「悲しみの果てにも望みあり」(ヨハネ11章1～45節)

○ヨハネ11章4節のみことば

「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。」

*病だけでなく死さえも、御栄えが現わされるときになる。

☆生まれつき目の見えない人は、なぜ、こうなったのか？

「神の業がこの人に現れるためである。」(ヨハネ9章3節)

※あなたの命、病も傷も、みわざが起こされるために…

○ヨハネ11章17節のみことば

「イエスが行って御覧になると、ラザロは墓に葬られて既に四日もたっていた。」

*残された人々は、死んでしまった者に、なにもできない。

☞キリストは、死の向こう側から命を生き返らされる御方。

★あなたの尽きていく命にも、必ず触れてくださる救い主。

「わたしは、復活であり、命である。」(25節)

*神の子イエスが、あなたも復活させ、その命を与え続ける。

今日のみことば：ヨハネ11章40節

「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」

*四日も墓に入った人の復活を疑うマルタも信じる者へと。

「死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。」(44節)

⇒「ラザロ、出て来なさい」との〈みことば〉によって…

○Iコリント15章52節のみことば

「死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。」